災害時におけるポータブル型・移動型
X線装置の安全点検チェックシート（災害時）

災害時にX線撮影装置を使用する際は、❶装置を使用場所に移動する前、
❷使用する直前、❸使用場所の環境 について、それぞれ下表の項目を点検してください。

装置名 ______________________ 点検日 ____________ 点検者 ____________

❶使用場所に移動する前

	点検項目	判定内容	結 果
1	外装の緩み	がたつきがないこと。	
2	X線発生器の油漏れ	油漏れがないこと。	
3	ケーブルの状態	亀裂、線材のむき出しがないこと。	
4	コネクタ·プラグの状態	ピンの曲がりがないこと。外装の歪みがないこと。	
5	可動絞りの羽根の開閉具合	円滑に開閉すること。	
6	可動絞りのランプ	点灯すること。	
7	撮影条件設定の各表示	表示すること。	
8	X線照射試験	正常に動作し、エラーが出ないこと。	
9	アースケーブル	ケーブルが付属され、断線がないこと。	

❷使用する直前

	点検項目	判定内容	結 果
1	外装の緩み	がたつきがないこと。	
2	X線発生器の油漏れ	油漏れがないこと。	
3	ケーブルの状態	亀裂、線材のむき出しがないこと。	
4	コネクタ·プラグの状態	ピンの曲がりがないこと。外装の歪みがないこと。	
5	可動絞りの羽根の開閉具合	円滑に開閉すること。	
6	可動絞りのランプ	点灯すること。	
7	撮影条件設定の各表示	表示すること。	
8	X線照射試験	正常に動作し、エラーが出ないこと。	
9	アースケーブル	接地していること。	

❸使用場所の環境

	点検項目	判定内容	結 果
1	外気環境-1	装置の近くで麻酔ガスのような可燃性ガス、および エタノールのような引火性液体を使用しないこと。 **【爆発事故や火災発生の防止】**	
2	外気環境-2	水滴がかからないこと。 **【機器の誤動作の防止】**	
3	電源	装置の定格範囲であること。 **【機器の誤動作の防止】**	
4	アース	接地していること。 **【感電の防止】** ※ガス管に接続していないこと。 **【爆発事故や火災発生の防止】**	